

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2年 3月 24日

公表: 令和 2年 3月 30日

15 事業所名 幼児グループにじのこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	2	室内は遊びのエリアを分けたり、感覚統合遊具を組み合わせたサーキットコースにより体をを使う遊びの設定をしている。また、陽気のよい季節にはテラスや庭等を利用し遊びのびと過ごせるよう配慮している	今後も分かりやすいエリア設定等を行い、テラスや庭、近隣の公園を有効に活用していきたい
	2	職員の配置数は適切である	15		マンツーマン対応のお子さんや急な欠勤にも対応できるよう、基準を超える十分な職員を配置している	引き続き体制を整えていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	16	1	プレールーム・テラスには、段差がなく利用しやすいが、トイレが狭いと感じるが賃貸物件であり、改修は難しい。玄関は折り畳みスロープを用意している	トイレは時間差で利用し、適宜足台や補助便座を使用していく。施設内の整理整頓を心がけ、環境を整えながら、スペースを有効に使用していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	1	毎日消毒清掃を行っている。プレールームには余計な物を置かず、分かりやすい空間となっている	今後も日々の消毒清掃を行っていくと共に、年2回の害虫駆除を行っていく。洗面所やキッチン等にものも多く動きづらいと感ずることがあるため、整理整頓を心掛けていく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	14	1	子どもの個別目標については日々の振り返りの意見を反映させている。年間の目標設定は常勤職員で行っており、全ての職員が広く参画しているとは言えないが、日々の振り返りでの意見を反映するよう心掛けている	前年度出来なかったことや、アンケートに上がった内容等をテーマを設けて、意見を吸い上げる等の工夫をしていきたい
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	3	評価を実施している他、面談や日々のやり取りの中で意向を把握している	把握した意向について迅速に検討、改善につなげていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	アンケート結果は公表しているが、別途改善結果の公表はしていなかった	今回は改善結果等を含め公表をしていく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		今年度第三者評価を実施することができた	評価を公表するとともに、結果をもとに改善を図っていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15		法人内研修を年4回実施している他、資格取得と技術力向上のための外部研修の推進、実施をしている	内部研修については、皆が同じ機会を得ているが、外部研修についても偏りなく受講できるよう計画していきたい
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12		他事業所の個別支援計画や幼稚園等での様子、家庭での様子等を把握した上で、支援計画を立てている	今後も他機関での情報を共有しながら、丁寧な面談を心がけていく
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1		利用初回時に、標準化されたアセスメントツールを使用している他、日々の記録についても、項目毎の様式を使用している	今後も適宜使用していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10		面談により、家庭での様子や他機関での様子を反映させ、保護者の希望や本人に必要な項目が適切に設定されている。支援会議にて担当職員以外にも職員が参画して作成されている	今後もガイドラインに従い、適宜適切に計画を立てていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14		朝の打ち合わせ等で、個々に合った支援を確認でき、統一した支援ができるようになっている	今後も確認を周知していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	11		ミーティングで意見を出し合い決定しているが、もう少し様々な人の案が反映されると良い	立案から広く職員の意見を吸い上げるようにしていく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	1	季節、行事等に合ったバラエティーに富んだ内容が考えられており、その時の子どもの様子を考慮して実施している	基本スケジュールの中の体操や手あそび、絵本の読み手を変える等の変化があっても良いと思う。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	13		社会性を育む視点で集団のあつまり等を、身辺自立については個別活動の視点で計画に盛り込んでいる	専門家の意見や他機関の計画内容も参考にしながら、内容の充実を図りたい

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15		当日の活動内容、子どもの最近の様子、支援目標、役割分担等、一人ひとり確認できている	分担された役割の中での気づき等をその日のふり返りの中で丁寧に吸い上げていきたい
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	15		当日療育に入った職員全員が報告できる機会がある。子どものいい所、良かった所以外にも、困った場面、疑問、分からない事、これでいいのか？ということも検討や相談できるとよい。という意見と、気づいたことや悩んだことを話し合うことができる、という意見があった。振り返りはかなり丁寧に行われている。重要事項は、ハヤリハット表や連絡票で共有している	気づきや悩みを随時話し合えるように配慮していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15		全職員での振り返りの後で記録をすることで、客観的な記録をとることができている。また、自分が書いた記録だけでなく他の職員が書いたものも確認するようにしている。日々の記録様式には個別の支援目標が入っており、個別支援計画の見直しの際は、この記録を元に記憶ではなく客観的事実に基づいて計画の見直しを行っている	ポイントを抑えた記述ができるよう、朝の打ち合わせで支援の具体的なポイントを共有していく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		6か月毎に見直しをしている他、日々、相談に応じたり、家庭で必要な支援の提案を行っている。	引き続き必要に応じ見直しをしていく
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2	主に保護者を通じて、他機関での情報を得ている。相談事業所の訪問があった際には、児童発達支援管理責任者が対応している	必要に応じ積極的に参画していく、また、そのことを保護者に周知していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	1	年数回の心理、OT、ST等の指導がある。他施設への見学、会議等へ参加し連携を図っている。	子育て支援ネットワークの委員会に参画する等、顔の見える関係を築いていく中で連携をしていく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1	医療的ケアは行っていないが、重症心身障害のあるお子さんへの姿勢保持や食事の方法などは、保護者を通したり、PTからの指導を受けながら行っている	今後も適宜専門家の指導を受けながら、職員のスキルアップを図り、適切な支援をしていく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1	緊急カードや重要事項説明書にて、主治医等の連絡先を把握している	保護者を通し適宜確認を行っていく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1	情報については、保護者を通じて得ている。	例年は訪問を行っているが本年度はあまり行えなかった。保護者の意向を確認したうえで、保育園や幼稚園等の見学を積極的にに行い、普段から顔の見える関係を築いていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	学校見学は行っている。保護者からの依頼により、就学支援シートで入園～卒園までの様子を記載し提出している。	会議や直接のやり取りは行っていないが、学校見学を行う中で積極的に情報を得ていきたい
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10		例年2回の専門家による技術支援をうけているが、今年度は1度のみであった。幼児の連絡会には出席し、情報や支援についての情報交換は行っている。	引き続き連携をしながら、職員全体のスキルアップを図りたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10	1	多くの子どもが地域の幼稚園や保育園を利用しており、そこにおける交流がある。今年度、近隣保育園のコンサートの鑑賞に参加することができた	園庭解放等にも参加し交流を図っていききたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	1	担当者が自立支援協議会や子育てネットワークの委員会に参画している	引き続き積極的に参加し、情報をフィードバックしていきたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14		保護者からのノート以外にも、送迎時の聞き取り、電話相談、面談等でコミュニケーションがとれている	発達支援のスキルアップを図っていく
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	4	就園・就学勉強会、音楽療法勉強会には多くの参加者があり、家族支援になっている。その他は個別に相談や助言を行っている。職員会議にて児童管より面談等で相談に対しどのようにアドバイスを行ったかのフィードバックを行った	「父親勉強会」を設定したが、参加希望が少なく中止になってしまった。保護者がどのような支援を求めているのか、アンケートをとっていく	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15		契約時と変更毎に、お知らせや書類等で確認が行っている	今後も漏れなく行っていく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10		ガイドラインの内容については、契約書に盛り込み、契約時に読み上げながら丁寧に説明を行っている。支援内容も保護者の意向を十分に理解した上で作成し、同意を得ている	今後も丁寧にいく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	1	6ヶ月に一度の個別面談の他、送迎時や電話、ノートにより応じている	職員によってどのように返答すればよいか分からないこともあるため、個人情報に配慮しながら、保護者対応時の情報を共有し、保護者対応のスキルアップを図るとよい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12		保護者会、就園・就学勉強会、バザー・手作りの会では、異年齢児の保護者が交流できる機会を設けたり、多目的室の開放も行っている	保護者の意見を取り入れながら、適宜開催していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11		出来る限りその場で対応できている。検討が必要な場合は、上司や同僚に相談しながらチームで行っている	今後できる限り対応していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13		毎月のおたより、年4回の季刊誌、毎月の活動写真掲示、ホームページ等により発信している	今後も適宜行っていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	15		保護者には、内容により細かく同意書を得ている他、職員や実習生にも個人情報に関する宣誓書を取り交わし、その他の書類についても鍵付き書庫に保管している	今後も徹底していく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13		障害の特性や発達段階に応じ、実物を示したり、サインと言葉を組み合わせる等を行っている。保護者にも口頭では分かりやすく丁寧な説明を、また、連絡表や連絡帳、メール等において漏れがないよう心がけている	職員の支援のスキルアップを図っていく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	3	法人では研修会に地域の他事業所に参加を呼びかけたり、記念行事への招待状を出している	今後地域保育園にも研修参加の呼びかけを行っていききたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	15		事業所内の緊急時対応マニュアルを策定している他、緊急時対応カードを保護者に配布回収し、連絡先や発作時の対応についての確認をしている。また、感染症対策としては、職員に予防接種費用の補助をいっている。他嘔吐処理の研修や、救急救命研修、避難訓練も行っている	避難訓練等は設定曜日により全職員、子どもが参加できていないため、全員が参加できるように計画していききたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15		避難訓練(地震・火災想定)を年数回行っている	避難訓練を定期的に行う
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12		利用開始時や新年度の切り替え時に利用者台帳にて確認している	状況の変化があった場合に申し出るよう保護者に周知する
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3	アレルギーについては保護者の指示に従っている。投薬等が必要な場合は、医師による与薬指示書を提出していただく	保護者より詳しく聞き取りを行う
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	15		毎日の振り返り時にヒヤリハットがなかったかの確認を最初に行い、対応方法についても全職員で検討している。また、当日勤務でなかった職員も勤務前には必ず前日までのヒヤリハットの記録を確認してから支援に入るようにしている	今後も引き続き徹底した確認情報の共有を図る
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	15		年に1回研修の機会を設けている他、チェックリストで確認している。研修に参加できない場合は、課題のある資料を郵送している。年2回虐待防止委員会を設定している	日々の現場でお互いの支援について疑問に思うことを直接言えない時は、チームで事例検討したり、話し合えるようにしていきたい
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	3	個別に口頭で説明し、了解を得て個別支援計画に記載している	幼児の身体拘束の事例などについて、情報収集し法人内で検討していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

改善できた点

- 4 施設全体にバルサンを焚き、害虫駆除を行った
- 8 第三者評価を受けた。結果を受け事業改善を進めたい
- 9 非常勤職員についても今年度は外部研修をうけることができたが、まだ偏りがあるため、さらに計画的に進めていきたい
- 13・17 朝のミーティングでは書面で用意していた個別目標を口頭でも確認するようになった
- 14 前年度よりも制作内容などについて、非常勤職員にも意見を求める等したが、参画できていない職員もいるため、今後はより広く意見を反映できる機会を設けたい
- 22 子育てネットワークの委員会へ参画している。今後関係を深めていきたい
- 28 近隣保育園の行事に参加することができた
- 31 職員会議にて児責管より面談等での相談に対しどのようにアドバイスを行ったか、個人情報に配慮しながらフィードバックを行い、保護支援のスキルアップに努めることができた

次年度も今年度の課題や改善点を目標に反映させ事業運営を進めていきます。